

ROTARY CLUB of TOKYO-MINATO

2024年2月13日 (第1630回)

2023-2024年度

VOL. 37 No. 24 通算1541号



[聖坂] この坂は三田3丁目から三田臺町濟海寺の方へ上る坂、かつては長さ 百間幅二間五尺ほどの細長い坂であったが、今は大きな道になった。

“世界に希望を生み出そう”

CREATE HOPE in the WORLD

RI 会長 ゴードン R.マッキナリー

東京みなとロータリークラブ

会長	宮本 敏行	幹事	上原 空也
副会長	岡田 恭彦		
例会日	毎週火曜日12時30分	Meeting Every TUESDAY	12:30
例会場	東京プリンスホテル	Tokyo PRINCE Hotel	
創立	昭和 62年 6月 23日	Established 23rd Jun	1987

2月定例理事会

日時:2024年2月6日(火) 例会後
議案:

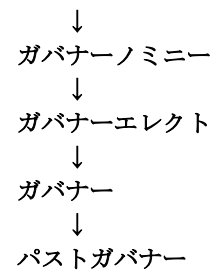
- 3月26日(火)夜間移動例会[観桜会]参加者及び会費等について
八芳園(本館)にて例年通りご家族同伴(知人含む)とし、会費は大人15,000円・小学生7,000円としてOB会員も同額にてご案内する。今年度も金沢みなとRCへは地震の関係上考慮しつつもご案内することとする。
 - 2024-25年度ロータリー手帳購入の件
例年の如く、希望者にのみ無償配布とする。
 - 浅野親睦副委員長より1/16(火)新年会収支報告。+43,120円は親睦口座に繰入。
 - 千代田グループIM(4/26(金)開催)について
クラブ分担金@1,500円×1/1付会員数
登録料@10,000円 要請参加者は会員数の20%。全会員に案内し、登録料もクラブ負担とする。
 - 吉田会員を委員長、宮本・高取両会員が副委員長、理事会メンバーを委員として能登半島支援(金沢みなとRC支援活動)に傾注する特別委員会設置。
- (その他)
・千代田グループ予選ゴルフホストクラブについて

ガバナーノミニー・デジクネットとは

地区でガバナーノミニーを指名するのは36~24ヶ月前ですが、24ヶ月前にガバナーノミニーが指名された場合、ガバナーエレクトになるのは1年の前ですから、ガバナーノミニーが2人存在する時期があります。ガバナーノミニーが2人では分かりにくいので、就任まで24ヶ月以上ある人をガバナーノミニー・デジクネットと呼ぶという立法案が2013年4月に開催された規定審議会で採択されました。これがガバナーノミニー・デジクネットという呼称の由来です。

デジクネットという言葉は日本人の私達には馴染みのない言葉ですが designate と書きます。英和辞典を引くと、名詞の後にこの言葉がきた場合には、「(役職)に指名された(が未就任の)」という意味があるようです。

ガバナーノミニー・デジクネット



と呼称が変わっていきます。

(ご報告)

2023-24年度下期分人頭分担金の支払いを済ませました。

37.5ドル(5,288円)×37名=195,656円

比例分担金(上期中途入会者4名分)

881ドル×5ヶ月(4,405円)×3名=13,215円

881ドル×2ヶ月(1,762円)×1名= 1,762円

合計 210,633円(1,494ドル)

2月のロータリー

平和構築と紛争予防月間

東京みなとロータリークラブ
TOKYO MINATO ROTARY CLUB

事務局: ☎108-0014 東京都港区芝4-12-4 名倉堂ビル

Office: Nagurado Bldg. 4-12-4 Shiba Minato-ku Tokyo 108-0014

Tel: 03-5232-3514 Fax: 03-5232-3515

☆本日の例会

ロータリーソング 四つのテスト・冬景色

卓話「イニシエーション・スピーチ」

当クラブ会員 酒井 克彦君

当クラブ会員 渡辺 剛君

◎本日の会合

・第4班炉辺会合 18:00 八重洲「いぶき」

♪四つのテスト♪

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

♪冬景色♪

一、さ霧消ゆる 湊江の

舟に白し 朝の霜

ただ水鳥の 声はして

いまだ覚めず 岸の家

◎2月ご夫人誕生日おめでとう。(3名)

9日 外山 美子様 21日 青山こずえ様

9日 渡辺美千代様

第1629回例会(2024年2月6日レポート)

点鐘 : 宮本 敏行会長

ロータリーソング: 日も風も星も・みなど

ソングリーダー : 吉田隼人君

ビジターとゲスト 0名

出席報告 出席数 22名 出席率 56.68%

会員数 39名 計算出席数 39名

前々回修正出席率 74.36%

会長報告

※2月会員誕生日おめでとう。(4名)

※この度ポールハリスソサエティに入会くださり、3回目のポール・ハリス・フェローになられた高取会員にサファイア2個入りのバッジが届きましたのでお渡し致します。ロータリー財団寄付へのご協力有難うございました。

※1月理事会決議の能登半島災害支援金として友好クラブの金沢みなとRC宛に1月29日付、100万円を振り込みましたのでご報告いたします。用途については報告があり次第お伝えいたします。また、昨日金沢みなとRCさんより当クラブの災害支援金に対してお礼状が会員の皆様宛として届きましたのでご報告いたします。

※本日は百万ドルの食事にご協力いただきました。

※松岡会長エレクトより次期千代田グループ協議会(1/25)報告

※2月のロータリーは「平和構築と紛争予防月間」です。

幹事報告

※皆様からご協力頂きました「能登半島大地震災害義援金」は112,000円となり、地区宛に振り込みをさせて頂きました。地区では1/19~3/29まで順次取りまとめて被災地の第2610地区能登半島地震災害支援本部に送金されます。

※渡辺 剛会員よりロータリーの友2月号見どころ紹介。

※ロータリーレートが2/1より1ドル147円(現行141円)に変更となりました。

※本日の卓話は山口会員の予定でしたが雪による悪天候により「延期」とし、急遽渡辺俊之会員が卓話下さいます。

卓話

当クラブ会員

渡辺俊之君

「支離滅裂な話」

(急な話なので)



ニコニコBOX

小池 SAA

浅野→このぐらいの雪で東京は壊滅的になりました・・・それを思うと能登半島の方たちはどれほど過酷なのかと。胸が痛くなります。

福田→本日の卓話は山口会員に代わり、渡辺俊之会員の「支離滅裂な話」に急遽変更になりました。渡辺先生、宜しくお願いします。

(次ページ右面下につづく)

《世界中で活躍する「行動人」》

米 国

アール・クナウスさんは、隣人からのあるものを受け取った時に学んだことがあります。このあるものとは、変形しているからといって農家が破棄した三束の赤唐辛子でした。

「形が変だったり、傷ついていたたり、不完全な野菜が捨てられたり、破壊されたりしていることに気づきました」と、ハンブルク・ロータリークラブ(ニューヨーク州)のクナウスさんは話します。クナウスさんは、農場の所有者から売れない野菜を約67キロ分譲り受け、フードパントリーに寄贈しました。これがきっかけで始まったFarm to Familyのプロジェクトには現在、3件の農家が参加しており、ハンブルク・クラブが2018年に正式なプロジェクトとして採用しました。5月から12月にかけて、クナウスさんも含めたロータリー会員と支援者が、3,000世帯に野菜を届ける活動を行っています。2022年には、23の配給所に約45,000キロに相当する野菜を寄贈しました。このうちの一つであるResurrection Life Food Pantryの責任者、キム・レイノルズさんは、このプログラムがなければ新鮮な野菜を手に入れることはできないと話します。私たちのサービスの利用者は、Farm to Familyを頼りにしています」

ペルー

ペルーで生産される牛乳のほとんどが、農場の外に出されることはなく、農家が直接消費したり、子牛に与えられたり、高級チーズを作るのに使われています。Fusión Latina Distrito 4465 ロータリーEクラブは、非営利団体の「CEDEPAS Norte」と協力し、ペルー北部の高地で自給自足をしている農家を支援しています。昨年、クラブは二つのチーズ生産施設を開設するためにステンレス製のプレス機と金型を納入しました。設備、研修、管理、マーケティングのために、グローバル補助金50,000ドル以上が活用されました。「これまで、21人の新たな従業員と63の家族が恩恵を受けたほか、ペルー政府によるプログラム『Agroideas』を通じて、妊娠中の牛25頭が寄贈されました」とクラブ会長のフェルナンド・バレラさんは話します。

イタリア

摂食障害を持つ若者の数が増えていることを受け、Terre Cremasche ローターアクトクラブと非営利団体「Consultorio Insieme Crema」が20~35歳の人たちを対象としたワークショップを開催しました。4月からは、ボディイメージ、マインドフルな食事、ウェルネスとサステナブルな食事の三つつのトピックが取り上げられました。セッションは、カウンセリングセンターや心理学者と協力して開発されました。「参加者の食生活や、食事に関する感情的かつ歴史的な重要性を批判的に調べることを目的としています」と同クラブ会員のエマ・プレボさんは言います。クラブは、15世紀の修道院にあるクレマの市立博物館でガラ・カクテル・レセプションを開催し、プログラムの大部分の資金を提供しました。

フィリピン

2人のクラブリーダーが栄養士であるLucena University District ロータリークラブでは、健康的な食事を重要視しています。このクラブはフィリピン栄養士協会のケソン支部と協力し、食事が病気を予防する方法、運動、睡眠、十分な水をとることの重要性、その他のトピックについて刑務所で授業を行っています。クラブ会長のジョーイ・キャスリン・サモンテさんと元会長のベラ・カストロさんも、さまざまな食品グループの最適な分量について食品チャートを使って説明しました。また、有望なシェフたちが、刑務所で栽培された有機野菜を使った料理コンテストで腕を試しました。クラブ会員のジャスパール・パンガニバンさんは、2人の献身を称賛しています。「2人にとって、地域社会における健康的なライフスタイルと食事を促進するためのこの種のプロジェクトはとても大切なものです」

ニコニコBOX (前ページのつづき)

宮本→足元の悪い中、出席いただいた会員に感謝します。渡辺会員のピンチヒッターの卓話期待しています。楽しそうですね。

吉田(真)→都心で雪が積もるのは2年振りです。転倒しないように、けがしないように気をつけましょう。

小池→2月に入りぐっと寒くなりました。今日・明日は足元に気をつけて参りましょう。

累計 557,400円